

令和4年度 串間市立金谷小学校 学校関係者評価書

学校経営ビジョン：豊かな心をもち、自ら考え、正しく判断し、進んで実践するたくましい児童の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点目標	評価項目	平均（4点満点）					考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
		児童	保護者	評価委員	職員	平均		
確かな学力の向上【知】	①学校は、「分かる・できる」授業をととして、学力の向上に努めている。	3.5	3.5	3.5	3.6	3.5	総合評価は、4点満点中「3.5」で、達成率は88%である。 ①については、職員の評価が昨年度の「2.9」から「3.6」と大きな伸びが見られた。また、②と③の項目においても、それぞれ「3.0→3.4」「2.9→3.5」と大きな伸びが見られている。 ①については、今年度も昨年度から引き続き、県の「4+4のチェックポイント」を意識した授業改善に全職員で取り組んでいる。また、12月に行われた学力テストに向けて、全職員で共通理解を図りながら、過去問やタブレットPCを活用した学習に取り組んできた。その結果、児童の学習意欲の向上が見られ、学力テストにおいても時間内に問題を解き終える児童が増え、職員も手応えを感じることができた。以上のようなことが、評価の伸びにつながったと考えられる。 ②については、今後も積極的に作品募集に取り組み、児童の自信や意欲につながりながら表現力の育成に努めていきたい。 ③については、学級担任による児童への働きかけとともに、保護者に対して、通信や懇談会などでノーマディアの協力を呼び掛けながら、読書の習慣を身に付けさせていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちの授業の様子から、自分なりの考えを積極的に発表しながら意欲的に学習に取り組む姿が見られた。</li> <li>・ 子どもたちのがんばっている姿を発信するためにも、宮日新聞の投稿などにも積極的に取り組んでほしい。</li> <li>・ 今後も、読書活動の積極的な取組を継続して欲しい。</li> </ul>
	②学校は、集会における発表や作品応募をととして、表現力の育成に努めている。	3.0	4.0	4.0	3.4	3.6		
	③学校は、読書の時間や「家読」をととして、読書の習慣化に努めている。	3.4	3.5	3.5	3.5	3.5		
危機回避能力と豊かな心の育成【徳】	④学校は、避難訓練、集団下校等をととして、危機回避能力の育成に努めている。	3.3	4.0	4.0	3.5	3.7	総合評価は、4点満点中「3.5」で、達成率は88%である。 ④の「危機回避能力の育成」については、「3.7」と高い評価を得られた。これは、年間に6回計画された避難訓練において、児童・職員一人一人が危機意識を持ちながら真剣に取り組んできた成果だと考えられる。避難訓練後の反省では、警察署や消防署の署員の声からも称賛の声をいただいた。今後は、様々な場面を想定し、児童自らが考え判断して行動できる実践力の育成にも力を入れている。 ⑤と⑥に関する児童の評価がやや低い。思いやりの心の育成や、「挨拶・返事・片付け・言葉づかい」等の基本的な生活習慣に関する指導は、年間を通して学校全体や各学級で繰り返し行っているため、厳しい評価になりやすいと思われる。 今後も、全職員で共通理解を図りながら、「金谷っ子の当たり前」を使った指導に取り組んでいきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちは、避難訓練を通して、災害からの危機回避能力が育っていると思う。一方で、下校後の様子などを見ていると、遊びに夢中になり、安全確認が不十分な姿を見ることがある。日常生活の中での危機回避能力も育てていって欲しい。</li> <li>・ 家庭での防災意識を高めるために、避難訓練に保護者の参加を募ってみるのもよいと思う。</li> <li>・ 思いやりある言動や基本的な生活習慣はある程度定着しているように感じられるので、今後も継続した指導をお願いしたい。</li> </ul>
	⑤学校は、命を大切にしている教育や人権教育、異学年交流をととして、思いやりの心の育成に努めている。	3.1	3.5	3.5	3.3	3.3		
	⑥学校は、「挨拶・返事・片付け・言葉づかい」等の基本的な生活習慣の定着に努めている。	3.0	4.0	4.0	3.3	3.6		
たくましい体の育成【体】	⑦学校は、体育の授業や「体力向上」の時間等をととして、体力向上に努めている。	3.1	3.0	3.0	3.3	3.1	総合評価は、4点満点中「3.2」で、達成率は80%である。 ⑦に関する職員の評価が、昨年の「2.8」から「3.3」と大きな伸びが見られた。今年度は、全校で毎朝ストレッチに取り組み、昨年度の体力テストの結果で課題が見られた「柔軟性」に伸びが見られた。また、朝の体力向上や体育の時間の内容の工夫により、運動に意欲的に取り組もうとする児童の姿が見られるようになった事が職員の評価の伸びにつながったと思われる。 ⑧に関しては、養護教諭を中心に、学級担任と連携して食育や健康指導に関するＴ・Ｔの授業を行ったり、保護者へ児童の健康状況を示した文書を出したりするなどして啓発や理解に努めた。次年度も、継続して健康的な生活習慣の定着に努めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下校後に元気に外で遊ぶ姿などを見ていると、学校の工夫した取組が、子どもたちの体力向上につながっているように思う。宿題の中に体力を高めるための課題を取り入れたり、学習活動の中に、地域のスポーツクラブのコーチを外部人材として活用したりするなど、より一層の体力向上に取り組んで欲しい。</li> </ul>
	⑧学校は、食育指導や健康指導をととして、健康的な生活習慣の定着に努めている。	3.5	3.5	3.5	3.1	3.4		
開かれた学校づくりの推進	⑨学校は、くしま学、総合的な学習の時間をととして、「くしま愛」の育成に努めている。	3.8	4.0	4.0	3.3	3.8	総合評価は、4点満点中「3.4」で、達成率は85%である。 ⑨に関しては、くしま学の学習を進める中で、発達段階を意識した課題設定や体験活動が計画・実施されており、児童も意欲的に学習に取り組んでいる。また、校外での体験活動や地域の方々とのふれあいの機会も感染症対策を講じながら少しずつ取り入れられるようになり、指導者も授業の計画が立てやすくなり高評価につながったと考えられる。今後は、活動後の児童の姿容等もしっかりと見届け、更なる充実を図ってきたい。 ⑩に関しては、今後も新型コロナウイルス感染拡大防止に務め、保護者や地域社会の願い等を踏まえながら、校外学習や外部人材の活用を積極的に取り入れ、より一層開かれた学校づくりに努めたい。 ⑪に関しては、「学校だより」を発行して地域の回覧板で見たいだったり、学校のHPを活用したりして広報活動に努めた。今後も定期的に、「学校だより」の発行や「HPの更新」を行いながら、積極的に情報発信に努めていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「くしま学」の学習を通して、多くの人や文化と触れ合いながら子どもたちの「串間愛」が醸成されることを嬉しく思う。コロナ禍で人との交流も十分にできなかったと思うので、規制が緩和される次年度以降には、市内の学校や、オンラインを活用しての遠方の学校等との交流なども行って欲しい。</li> <li>・ 学校だよりやホームページの更新を楽しみにしている。是非、継続して欲しい。</li> </ul>
	⑩学校は、授業に「地域の内容」や「外部の人材」活用をととして、開かれた学校づくりに努めている。	3.1	3.0	3.0	3.0	3.0		
	⑪学校は、学校だよりや学校WEBをととして、広報活動に努めている。		3.5	3.5	3.3	3.4		